

雑感 (その二)

東中野今昔ものがたり』は、平成11年3月25日号から始まり、今年連載5年目を迎えます。平成15年10月号までに取り上げたテーマは、次の通りです。

- ・旧東中野小学校 ①〜②
- ・山の手大空襲(二面に特別編集)
- ・早稲田通り ①〜③
- ・華洲園 ①〜②
- ・地元企業の今昔

(日本関・関東バス)

- ・東中野駅 ①〜③
- ・明治初期の東中野 ①一枚の賞状 ②一枚の地図 ③〜④
- ・神田川 ①〜④

- ・この町の「祭礼」
- ・ボールペン発祥の地
- ・山手通り ①〜②
- ・町火消から消防団へ
- ・ゆうれい坂
- ・戸山ヶ原 ①〜④
- ・寺子屋 ①〜③
- ・寺町 ①〜②
- ・氷川神社 ①〜②

平成11年1月25日号では、「写真で見える東中野今昔ものがたり」と題して、私の手元にある写真、①戦前のラジオ体操(東中野駅付近・昭和10年頃)②南小滝橋付近(昭和18年頃・出征兵士を送る風景)を掲載し説明しています。

雑感 (その三)

明治の初期、東京府下武蔵國、東多摩郡中野村から豊多摩郡中野町、そして昭和7年「中野区」となり、今日まで中野区は大きく変貌して来ました。人口も中野区になった昭和7年頃は約15万人、昭和16年頃は23万人にも達しましたが、終戦時は疎開や焼失で、人口も10万人前後と激減してしまいました。現在は約30万の人が生活をし、また仕事をす場所となつていきます。

昭和7年10月開校した旧東中野小学校の校歌、冒頭の歌詞「起伏す丘陵、緑樹に埋めて」の通り、この地域は緑多い田園地帯でした。今では、



現在の山手通り(東中野駅前)

蛇行する神田川は近代的な河川に、山手通りの「や」の字も無かった細い路地は、今や東京都に無くてはならない重要なその完成に期待が寄せられていきます。カラフルな色彩の車両が走るJR、高層マンションも数多く出来ました。新宿とい

う副都心にも近く、調和のとれた住み良い町を我々は堪能しておりますが、いかがでしょうか。將軍が鷹狩りをした「華洲園」、今その場所に立つと新宿副都心のビル群が見えます。その変貌ぶりを將軍様はどう見ますか・・・。



新宿の高層ビル群  
(東中野小校庭から)